

大切な人へ
のこしたいものは、何ですか。

次々と届く、亡き妻からの手紙。それが人々の想いをつなげていく――。

愛を積むひと

佐藤浩市 樋口可南子
北川景子 野村周平 杉咲 花
森崎博之 佐戸井けん太 岡田義徳
吉田 羊 柄本 明

監督：朝原雄三 脚本：朝原雄三・福田卓郎 音楽：岩代太郎 劇中歌：「スマイル」ナット・キング・コール
原作：「石を積むひと」エドワード・ムーニー・Jr. (小学館文庫刊)

制作：アスミック・エース/松竹/WOWOW/KDDI/読売新聞社/北海道テレビ/TBSサービス 制作・配給：アスミック・エース/松竹
制作プロダクション：松竹撮影所 撮影特別協力：北海道 美瑛町 助成：文化庁文化芸術振興費補助金

aitsumu.jp @aitsumu_movie #愛積む ©2015「愛を積むひと」制作委員会

「日本で最も美しい村」北海道・美瑛を舞台に、夫婦とそこに集う人々を優しく映し出す感動作。




夫婦愛、親子愛、そして血のつながりを超えた縁一。 北海道の四季とともに描く珠玉の愛の物語。

2004年に出版され、翻訳本としては異例のロングセラーを続けている、エドワード・ムーニー・Jr. 著の「石を積むひと」。夫婦や親子の関係、そして周りにいる人々との交流を静かに愛おしく描いた本書が、舞台をアメリカから日本に移し、新しい物語として映画化されました。主人公の篤史を演じるのは日本を代表する俳優、佐藤浩市。篤史の妻・良子役には7年ぶりの待望の映画出演となる樋口可南子。二人の一人娘・聡子役に北川景子のほか、野村周平、杉咲花、吉田羊、そして柄本明と、ベテランから躍進目覚ましい若手まで、豪華なキャスティングが実現しました。監督は「釣りバカ日誌」シリーズ、「武士の献立」でメガホンをとった、人間ドラマの巧みな演出で定評のある朝原雄三。

撮影は「日本で最も美しい村」連合第1号に認定された北海道美瑛町にオープンセットを建てて1年にわたり敢行、色鮮やかな丘陵や日本百名山のひとつでもある十勝岳など、大自然の四季の移ろいとともに、そこに住む人々のドラマを映し出します。また、チャールズ・チャップリン作曲の永遠の名曲「スマイル」が劇中歌として、作品の世界を彩ります。

大切な人を失った時に、人はどのように立ち直り、一歩前に進んでいくのか。妻からの手紙に導かれるように、登場人物それぞれが新たな人生を歩み始める。

丁寧に重ねていく日々に、やがて見えてくる希望——清々しい余韻とあたたかな涙を届ける感動作が誕生しました。



小さくて割れた石とか、
変わった形をした石とか、
そういう石にも、塀を支えるのに
役に立つ場所が必ずある一。
人だって、
きっと同じだと思う。



次々と届く、亡き妻からの手紙。想いは積み重なり、やがて希望となる一。

第二の人生を大自然に包まれた美しい土地で過ごそうと、北海道に移り住むことにした夫婦、篤史と良子は、かつて外国人が住んでいた家で暮らし始める。良子は篤史に家を囲む石塀作りを頼んだが、以前から患っていた心臓の病を悪化させて、この世を去ってしまう。悲しみにくれる篤史のもとに、ある日良子から手紙が届いた。驚く篤史。そして、次々と見つかる手紙に導かれるように、篤史は周囲の人々の人生に関わっていく。また、長年疎遠となっていた娘、聡子と再会し・・・。

第4回結城名画上映会

◆前売鑑賞券1,000円(当日/1,300円)

11月16日(木) 結城市民文化センターアクロス小ホール (結城市中央町2-2 TEL0296-33-2001)

①午前10時30分～ ②午後2時～ ③午後6時30分～ (上映時間125分)

◆プレイガイド◆[結城市] 結城観光物産館 (TEL32-5330)、カフェレストラン・カルチェ (アクロス北 TEL33-4448)
SmileCafe プチアミール (アクロス内 TEL54-5777 火曜定休、受付11:00~16:00)
ナガタヤ (TEL32-3737)、[筑西市] ヤマハ音楽教室 (株) マルシン (TEL24-3311)
[小山市] 小山市立文化センター (TEL0285-22-9552)

◆主催◆茨城映画センター (TEL029-226-3156)

◆後援◆公益財団法人結城市文化・スポーツ振興事業団

◆共催◆結城おやじの会

◆協力◆「結城名画上映会」を応援する市民の会 (三浦/090-4061-1050)